

夢に向かって 未来を創造 幸せな三芳町へ

誰一人取り残さない安心な町

新年明けましておめでとございます。
長いトンネルを抜け、眩しく輝く日々が戻ってきました。
昨年、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられました。みよしまつり、体育祭、産業祭などをはじめ様々な社会活動や事業が復活し、子ども達からお年寄りまで町民の皆さまの笑顔と元気な姿が街にあふれました。
「幸せ」は、平凡な日常生活の中で、誰かと共に生きていること。そのことをあらためて実感させていただきました。
昨年を振り返ると、うれしい

MIYOSHI 2024

ニューズがたくさんありました。360年にわたって継承されてきた武蔵野の落ち葉堆肥農法がFAO（国際連合食糧農業機関）より世界農業遺産に認定され、みよし野里山ガーデンツーリズムが国土交通省の進めるガーデンツーリズム制度（国内15地域）に登録されました。三芳町の自然、歴史、文化や人々の営みが、国内外で高い評価をいただき関心を集めています。
また、藤久保地域拠点施設整備等事業も事業者が決定し実施設計を策定します。関越自動車道の三芳PAスマートICのフル化事業も順調に進捗し、いよいよ3月には供用開始となります。三芳PA周辺には、三芳町の歴史、文化、物産等の情報を発信し地域活性化を進める交流拠点整備計画があり、広く住民の皆さまの声を聞きながら進めてまいります。
そして、4月から第6次総合計画がスタートします。WELL

DREAM & FUTURE

BEING（幸せ）をキーワードに、誰一人取り残さない安心で幸せなまちづくりを推進してまいります。
「一陽来復」
冬至は、一年で最も日が短く、冬が極まって頂点に達する時です。この日を境に日は伸びて春へと向かっていきます。
そして、新しい季節は、新しい人が切り開いていきます。広報みよし新春号は、新たに就任いただいた7組の「ふるさと大使」の皆さまです。彼らは、対談の中で「夢」を熱く語り、その瞳は輝き、その姿に「幸せ」と三芳町の未来を感じました。
「夢」は私たちの人生の羅針盤であり、未来を創造します。新しい年がスタートしました。さあ、「夢」に向かって共に歩んでいきましょう。



三芳町長 林伊佐雄

HAPPY NEW YEAR

1月、新しい年が始まります。去年は、みよしまつりなどのイベントや行事が久しぶりに行われ、町に活気が戻ってきた1年になりました。今年はどうな年にしたいですか。

夢

いっしょ



町長：町の「当地ヒーロー」として活躍中の「入間の戦隊ミヨレンジャー」の皆さん。ふるさと大使になられての想いを聞かせてください。
ゴヤ：ミヨレンジャーが三芳町のヒーローになれたんだ！という気持ちです。昔からお世話になっている北永井児童館の先生たちの支えがあり、10年前にヒーローになりました。今は地元の方々のサポートもあり、本当に感謝と三芳町最高と伝えたいです！
町長：ミヨレンジャーの皆さんにはいつも元気をもらっています。

MIYORANGER



ミヨレンジャーはスイートアップル・スパイシーカー・ゴヤの3人。

町長：チャレンジ精神を身をもって伝える姿、かっこいいです。新年を迎えての今年の目標と皆さんへのメッセージをお願いします。
ゴヤ：目標はみよしまつりので真ん中の大舞台で、花火に負けないくらい笑顔になるヒーローショーをやることです！三芳町を、愛を、全国に届けたいです！笑顔になりたい時は「ミヨレンジャー」と呼んでください！三芳町のヒーローです！
町長：ありがとうございます。これからも、町を元気で笑顔でつなげていってほしい。

挑戦を続ける町のヒーロー

これからの活動で取り組みたいことはありますか。
ゴヤ：小中学校や保育園などで子どもたちに笑顔を届けたいです。挑戦することの素晴らしさと失敗しても恥ずかしくないぞー！という気持ちを伝えたいと思います！（いつもちょっとスベってしまつので...）

CHECK POINT!

大使は総勢 17組 活躍を要チェック!

各分野で活躍し、町にゆかりのある「ふるさと大使」の皆さんは今回紹介した7団体を含め、現在総勢17組。町内外のイベントなどを通して町の魅力を発信してくれています。活躍の最新情報は町ホームページをチェック。

町HPで活躍をチェック



①産業祭に出演したTAON（タオン）さん。②和太鼓をレクチャーする鷹-TAKA-さん。大使の皆さんはイベントなどで活躍中。

ふるさと大使を応援してね!



I LOVE MIYOSHI